

# 岡山県感染症週報 2015年 第36週 (8月31日～9月6日)

岡山県は『腸管出血性大腸菌感染症注意報』発令中です。

## ◆2015年 第36週 (8/31～9/6) の感染症発生動向 (届出数)

### ■全数把握感染症の発生状況

第35週 2類感染症 結核 2名 (40代 男 1名、70代 男 1名)

第36週 2類感染症 結核 9名 (20代 男 1名、30代 女 1名、60代 男 2名、  
70代 男 2名・女 1名、80代 女 1名、90代 女 1名)

3類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 7名 (O111: 幼児 女 1名、O157: 幼児 女 1名、  
小学生 男 1名、20代 女 1名、30代 女 1名、  
50代 女 1名、70代 女 1名)

4類感染症 マラリア 1名 (30代 男)  
レジオネラ症 1名 (70代 男)

5類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 1名 (70代 男)

### ■定点把握感染症の発生状況

○手足口病は、県全体で190名 (定点あたり4.52 → 3.52人) の報告があり、前週より減少しました。

○RSウイルス感染症は、県全体で36名 (定点あたり0.39 → 0.67人) の報告があり、前週より増加しました。

○伝染性紅斑は、県全体で17名 (定点あたり0.31 → 0.31人) の報告があり、前週と同数でした。

### 【第37週 速報】

○腸管出血性大腸菌感染症 2名 (O26: 幼児 男 1名、O111: 幼児 男 1名) の発生がありました。  
(9月9日)

○玉野市の小学校1校で、流行性角結膜炎による学級閉鎖がありました。(9月10日)

1. **腸管出血性大腸菌感染症**は、第36週に7名の報告があり、岡山県の2015年第36週 (~9/6) までの累計報告数が、49名となりました。第37週 (9/9) には、さらに2名の報告があり、患者の発生が続いています。岡山県では、「**腸管出血性大腸菌感染症注意報**」を県下全域に発令し、注意喚起を図っています。手洗いなどを徹底するとともに食品は冷蔵庫で保存し、調理後はできるだけ速やかに食べる、食肉、特にハンバーグなどは中心部まで火を通すなど、ひきつづき通常の食中毒対策を励行し、感染予防に努めましょう。詳しくは、岡山県感染症情報センターホームページ『[腸管出血性大腸菌感染症注意報 発令中!](#)』をご覧ください。
2. **手足口病**は、県全体で190名 (定点あたり4.52 → 3.52人) の報告があり、前週より減少しました。地域別では、倉敷市 (6.55 → 5.91人)、岡山市 (5.86 → 4.71人)、真庭地域 (0.50 → 3.00人) の順に定点あたり報告数が多くなっており、特に真庭地域では前週より大きく増加しました。なお、岡山市・倉敷市では、ひきつづき発生レベル3となっています。この感染症は、症状がおさまっても、2~4週間の長期間にわたり、便の中にウイルスが排出されることもあります。うがいや手洗い、手指の消毒を励行するとともに、おむつや便の取り扱い時には使い捨てマスクやゴム手袋をするなど、感染予防に努めましょう。
3. **RSウイルス感染症**は、県全体で36名 (定点あたり0.39 → 0.67人) の報告があり、5週連続で増加しました。過去10年間の同時期と比較して最も多くなっています。地域別では、備中地域 (1.14 → 2.29人)、美作地域 (0.33 → 1.00人)、倉敷市 (0.45 → 0.82人) で定点あたり報告数が前週より増加しました。全国の第35週の発生状況を見ると、特に九州地方で定点あたり報告数が多くなっており、また中国地方でも島根県 (1.65人)、山口県 (1.60人) で多い状態です。この感染症は、大人は軽い風邪のような症状で軽快しますが、乳幼児が感染すると重症化する恐れがあります。例年、秋から冬にかけて多くの患者が報告されるため、今後の県内の発生状況に注意してください。また、うがいや手洗いを行うなど感染予防に努めましょう。
4. **伝染性紅斑 (リンゴ病)**は、県全体で17名 (定点あたり0.31 → 0.31人) の報告があり、前週と同数でした。過去10年間の同時期と比較して最も多い状態で推移しています。地域別では、美作地域 (0.67人)、岡山市 (0.64人)、備中地域 (0.43人)、備北地域 (0.25人) で患者の発生が報告されています。この感染症は、特徴的な症状である頬の発しんが出現する7~10日前に、微熱や咳などの風邪の様な症状がみられることがあり、この時期にウイルスの排出量が最も多くなります。妊娠中 (特に妊娠初期) に感染した場合は、胎児異常 (胎児水腫) や流産の危険があり、妊娠中の方は伝染性紅斑が周囲で流行している時、風邪の症状がある人に出るだけ近づかないよう注意が必要です。

## 流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ	↓		RSウイルス感染症	↗	★★★★★
咽頭結膜熱	↓	★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗	★★★
感染性胃腸炎	↗	★	水痘	↗	★
手足口病	↘	★★★★★	伝染性紅斑	↗	★★★★★
突発性発疹	↘	★	百日咳	↗	
ヘルパンギーナ	↘	★★	流行性耳下腺炎	↘	★
急性出血性結膜炎	↗		流行性角結膜炎	↘	★★
細菌性髄膜炎	↗		無菌性髄膜炎	↓	
マイコプラズマ肺炎	↗		クラミジア肺炎	↗	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	↗	* 感染性胃腸炎(ロタウイルス)については、2013年第42週から報告対象となったため、前週からの推移のみ表示しています。			

【記号の説明】 前週からの推移：  
 : 2倍以上の減少  
 : 1.1~2倍未満の減少  
 : 1.1~2倍未満の増加  
 : 2倍以上の増加

発生状況：今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。

空白：発生なし   ★：僅か   ★★：少し   ★★★：やや多い   ★★★★：多い   ★★★★★：非常に多い

保健所別報告患者数(定点把握)

2015年 36週

( 2015/08/31~2015/09/06 )

2015年9月10日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当														
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	36	0.67	4	0.29	9	0.82	-	-	16	2.29	-	-	1	0.50	6	1.00
咽頭結膜熱	6	0.11	3	0.21	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	36	0.67	3	0.21	18	1.64	6	0.60	4	0.57	-	-	-	-	5	0.83
感染性胃腸炎	245	4.54	50	3.57	54	4.91	37	3.70	28	4.00	27	6.75	9	4.50	40	6.67
水痘	12	0.22	4	0.29	4	0.36	-	-	1	0.14	-	-	2	1.00	1	0.17
手足口病	190	3.52	66	4.71	65	5.91	19	1.90	14	2.00	6	1.50	6	3.00	14	2.33
伝染性紅斑	17	0.31	9	0.64	-	-	-	-	3	0.43	1	0.25	-	-	4	0.67
突発性発疹	17	0.31	7	0.50	3	0.27	1	0.10	1	0.14	1	0.25	-	-	4	0.67
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	40	0.74	11	0.79	10	0.91	4	0.40	10	1.43	3	0.75	-	-	2	0.33
流行性耳下腺炎	31	0.57	5	0.36	3	0.27	2	0.20	2	0.29	-	-	4	2.00	15	2.50
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	10	0.83	2	0.40	1	0.25	7	7.00	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

( - : 0 or 0.00 ) ( 空白 : 定点なし )

保健所別報告患者数（発生レベル設定疾患） 2015年 36週 （2015/08/31～2015/09/06）

2015年9月10日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当														
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	6	0.11	3	0.21	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	36	0.67	3	0.21	18	1.64	6	0.60	4	0.57	-	-	-	-	5	0.83
感染性胃腸炎	245	4.54	50	3.57	54	4.91	37	3.70	28	4.00	27	6.75	9	4.50	40	6.67
水痘	12	0.22	4	0.29	4	0.36	-	-	1	0.14	-	-	2	1.00	1	0.17
手足口病	190	3.52	66	4.71	65	5.91	19	1.90	14	2.00	6	1.50	6	3.00	14	2.33
伝染性紅斑	17	0.31	9	0.64	-	-	-	-	3	0.43	1	0.25	-	-	4	0.67
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	40	0.74	11	0.79	10	0.91	4	0.40	10	1.43	3	0.75	-	-	2	0.33
流行性耳下腺炎	31	0.57	5	0.36	3	0.27	2	0.20	2	0.29	-	-	4	2.00	15	2.50
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	10	0.83	2	0.40	1	0.25	7	7.00	-	-	-	-	-	-	-	-

濃黄セルに赤数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル3  
薄黄セルに黒数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2  
を示しています。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 ( 2015年 第36週 2015/08/31～2015/09/06 )

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～	
RSウイルス感染症	36	4	8	15	8	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱	6	-	-	1	-	1	1	1	-	1	-	1	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	36	-	-	3	4	4	6	5	5	2	3	2	1	-	1
感染性胃腸炎	245	4	14	29	26	28	14	21	11	10	7	7	33	7	34
水痘	12	-	1	1	-	4	2	2	1	-	1	-	-	-	
手足口病	190	4	30	85	36	12	8	7	4	-	-	-	2	-	2
伝染性紅斑	17	-	-	2	-	2	4	3	3	-	1	1	-	-	1
突発性発疹	17	1	4	9	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	40	1	4	11	9	4	7	-	1	-	-	1	1	-	1
流行性耳下腺炎	31	-	-	2	4	3	2	6	3	2	3	-	6	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1	1	1	4

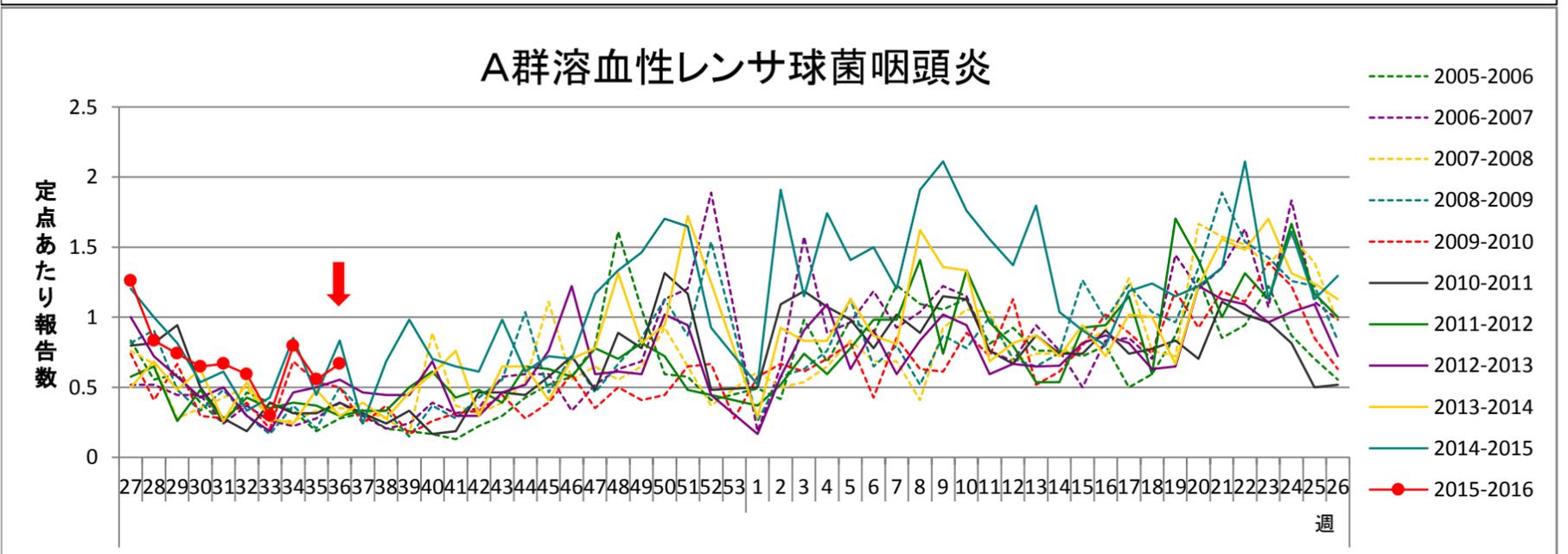
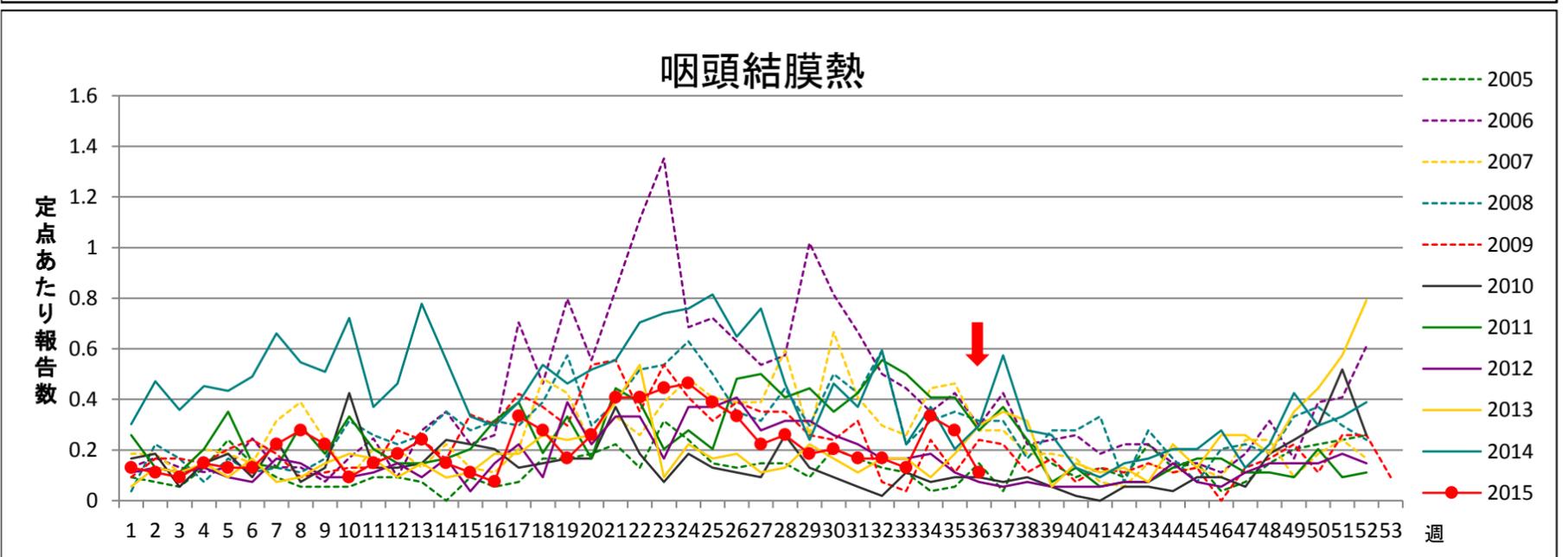
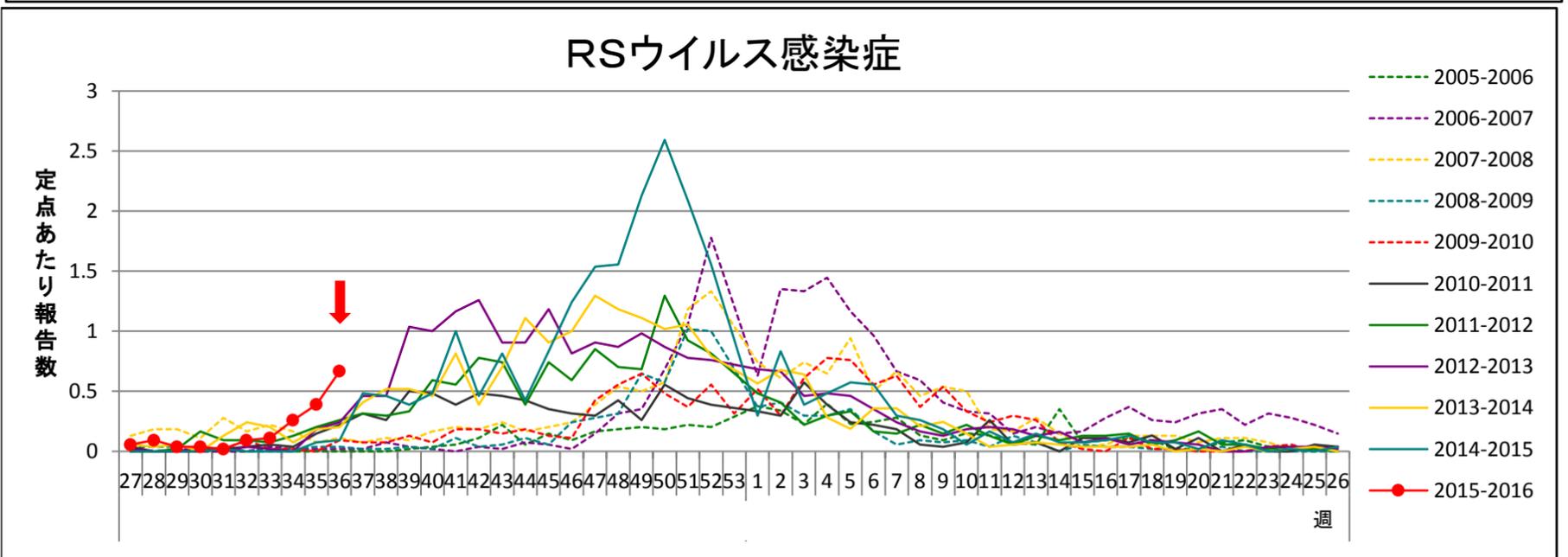
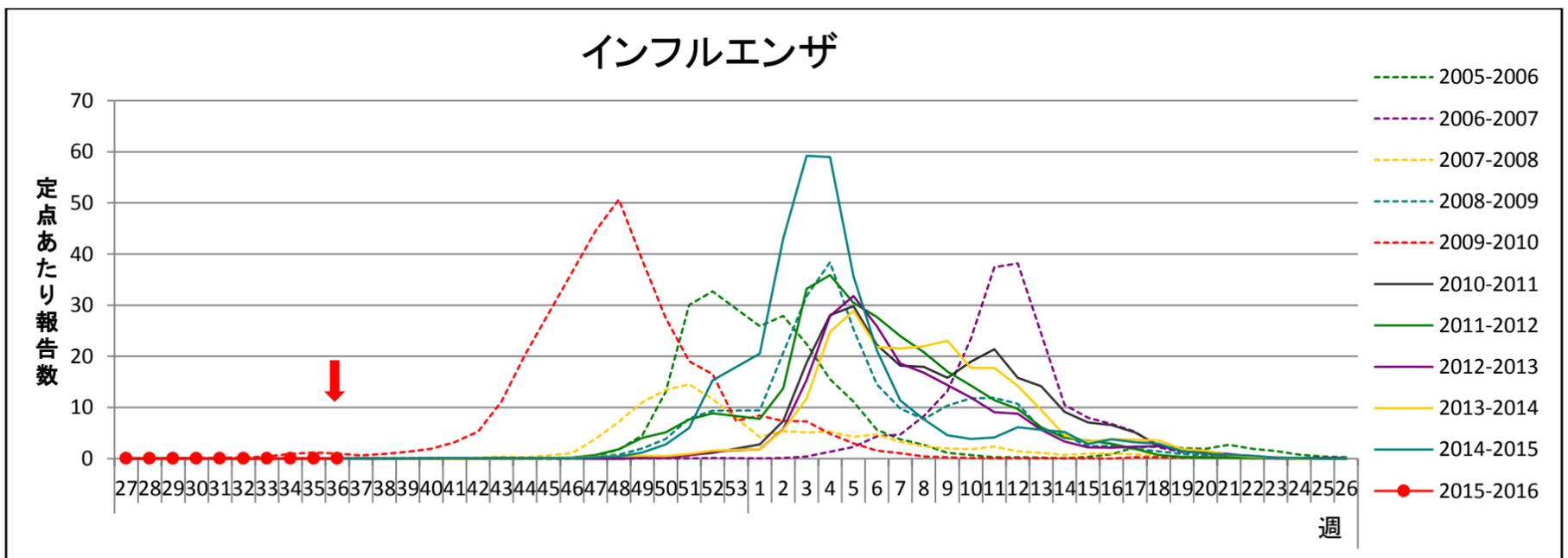
疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

( - : 0 )

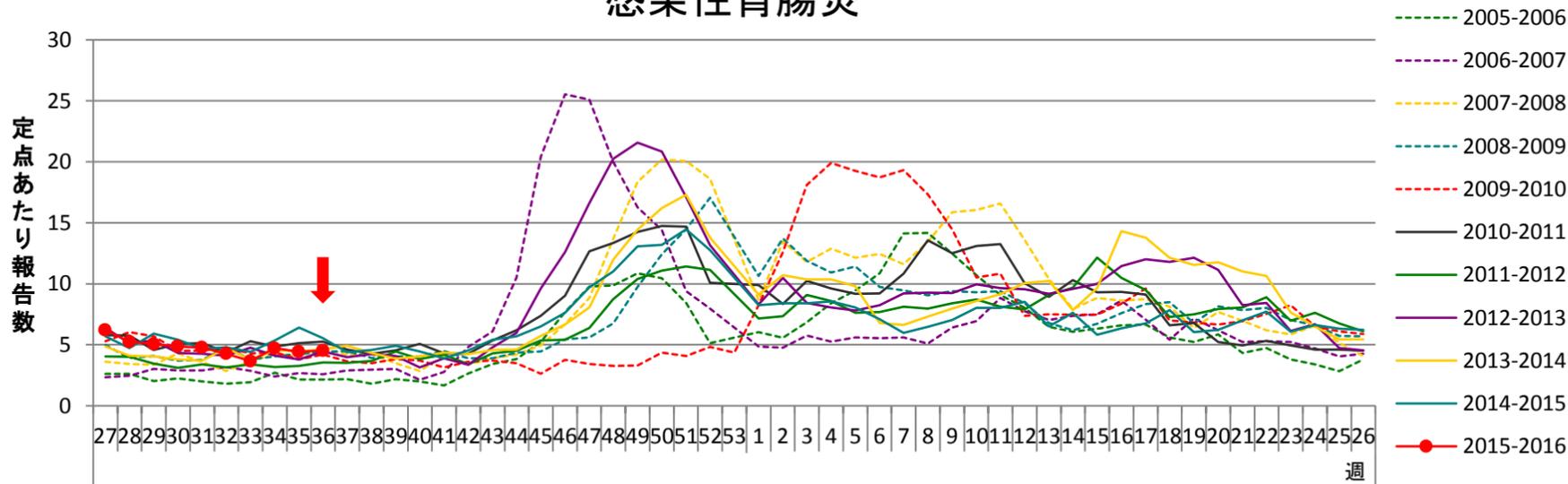
# 全数把握 感染症患者発生状況

2015年 36週

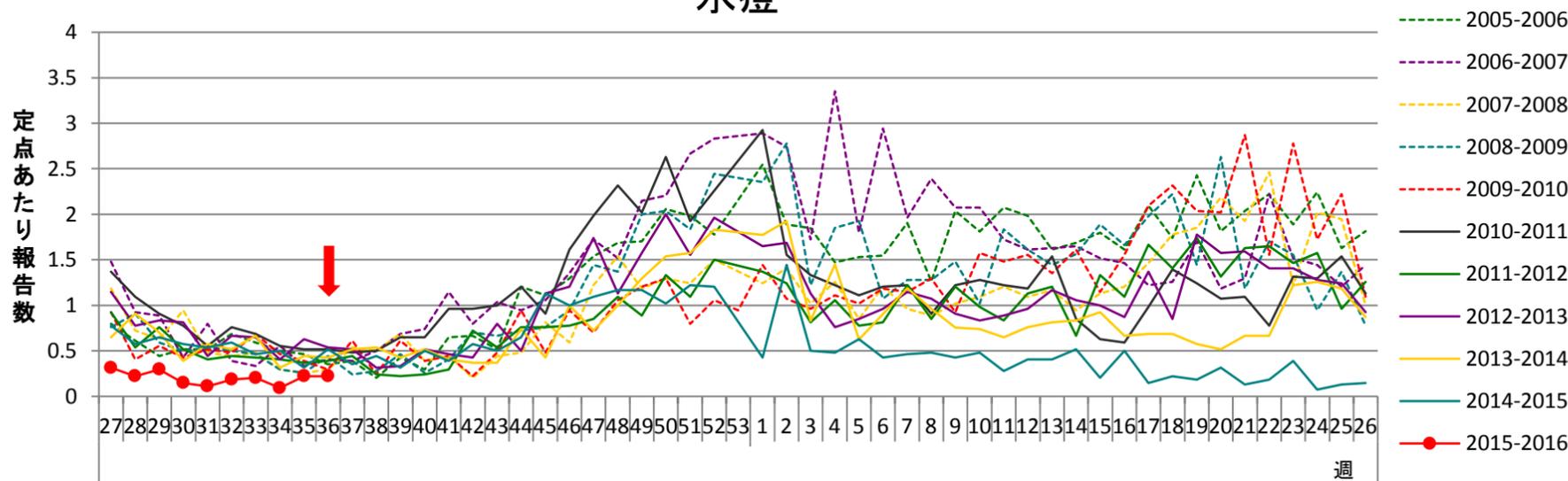
分類	疾病名	2015			疾病名	2014			疾病名	2015			2014		
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年			
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-	-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	9	234	384	ジフテリア	-	-	-	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	中東呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H7N9)	-	-	-		-	-	-		-	-	-	-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	1	-	腸管出血性大腸菌感染症	7	49	71	-	-	-
	腸チフス	-	-	-	パラチフス	-	-	-		-	-	-	-	-	-
四類	E型肝炎	-	3	2	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	6	8	-	-	-
	エキノコックス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	1	-	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサヌル森林病	-	-	-	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-	-	-	-
	サル痘	-	-	-	重症熱性血小板減少症候群	-	-	2	腎症候性出血熱	-	-	-	-	-	-
	西部ウマ脳炎	-	-	-	ダニ媒介脳炎	-	-	-	炭疽	-	-	-	-	-	-
	チクングニア熱	-	-	-	つつが虫病	-	-	2	デング熱	-	-	1	-	-	-
	東部ウマ脳炎	-	-	-	鳥インフルエンザ	-	-	-	ニパウイルス感染症	-	-	-	-	-	-
	日本脳炎	-	-	-	日本紅斑熱	-	-	4	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	-	-	-
	Bウイルス病	-	-	-	鼻疽	-	-	-	ブルセラ症	-	-	-	-	-	-
	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	発しんチフス	-	-	-	-	-	-
	ポツリヌス症	-	-	-	マラリア	1	2	-	野兎病	-	-	-	-	-	-
	ライム病	-	-	-	リッサウイルス感染症	-	-	-	リフトバレー熱	-	-	-	-	-	-
	類鼻疽	-	-	-	レジオネラ症	1	18	32	レプトスピラ症	-	-	-	-	-	-
	ロッキー山紅斑熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-	-	-	-
	五類	アメーバ赤痢	-	14	12	ウイルス性肝炎*3	-	7	7	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染	-	26	12	-	-
急性脳炎*4		-	11	9	クリプトスポリジウム症	-	1	-	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	-	1	-	-	-
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		-	1	3	後天性免疫不全症候群	-	15	21	ジアルジア症	-	2	1	-	-	-
侵襲性インフルエンザ菌感染症		-	1	2	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	-	侵襲性肺炎球菌感染症	1	23	27	-	-	-
水痘(入院例に限る。)		-	4	6	先天性風しん症候群	-	-	-	梅毒	-	11	21	-	-	-
播種性クリプトコックス症		-	1	1	破傷風	-	-	1	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染	-	-	-	-	-	-
バンコマイシン耐性腸球菌感染症		-	-	2	風しん	-	-	2	麻しん	-	-	6	-	-	-
薬剤耐性アシネトバクター感染症		-	-	-		-	-	-		-	-	-	-	-	-



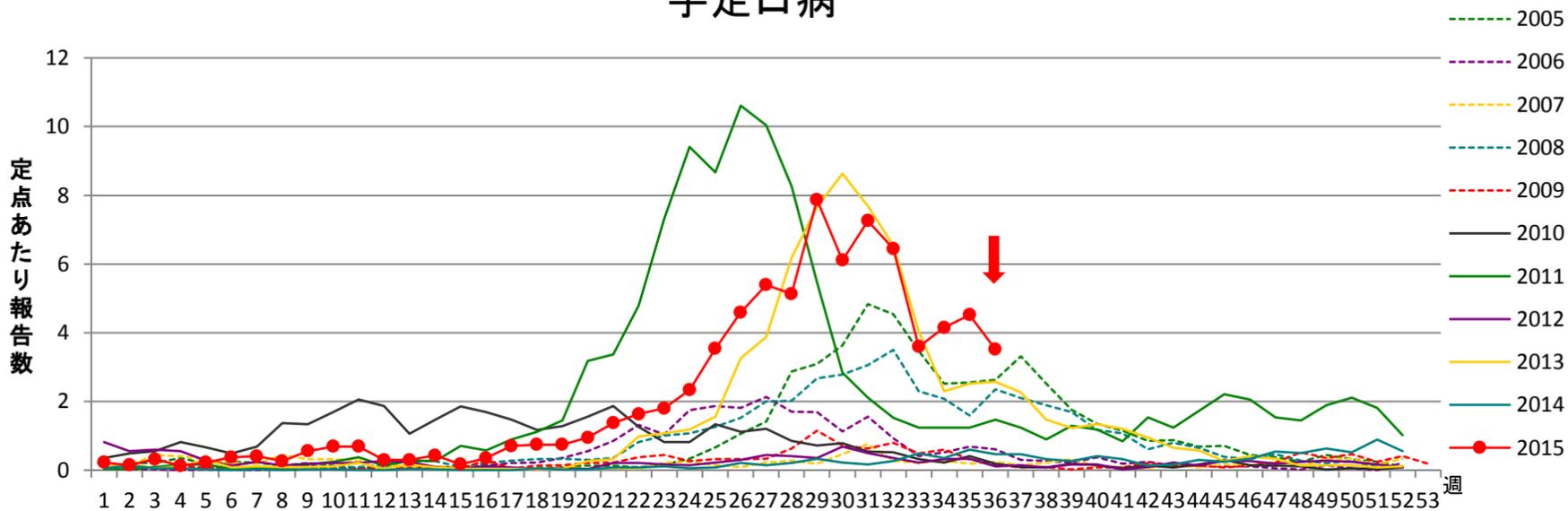
### 感染性胃腸炎



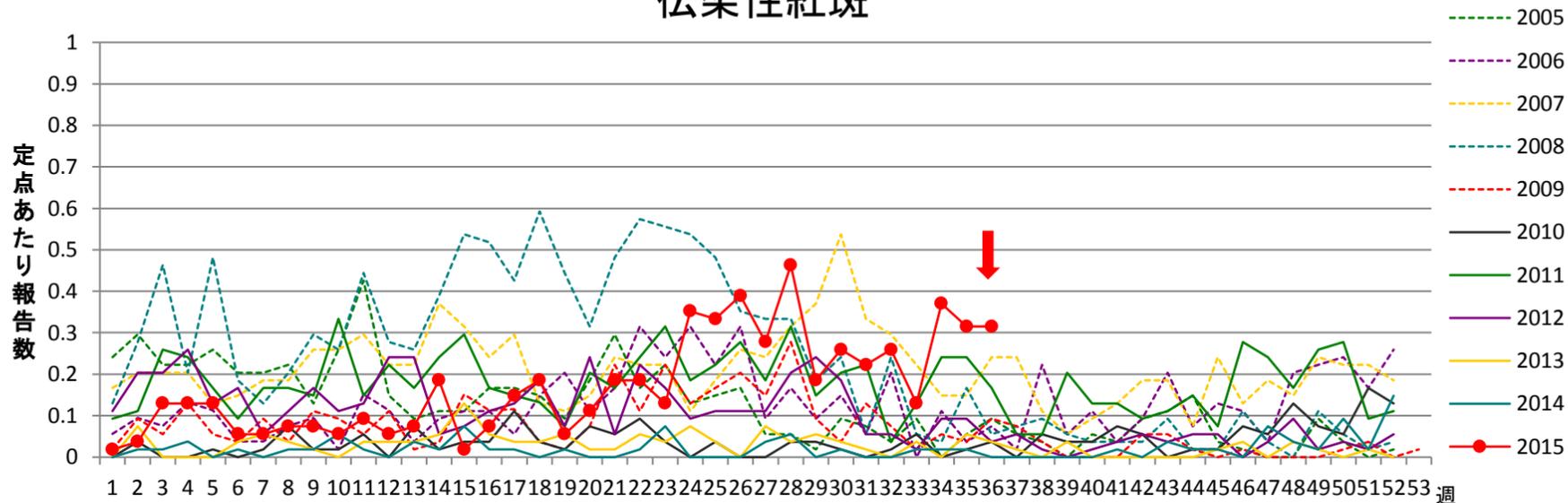
### 水痘



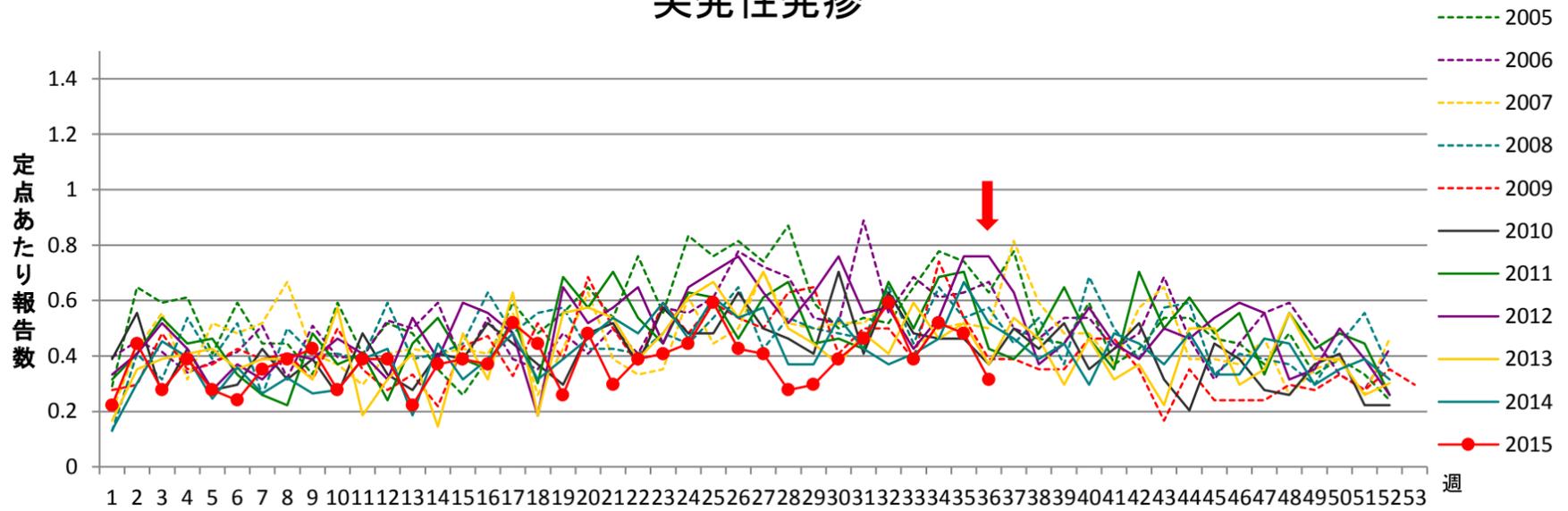
### 手足口病



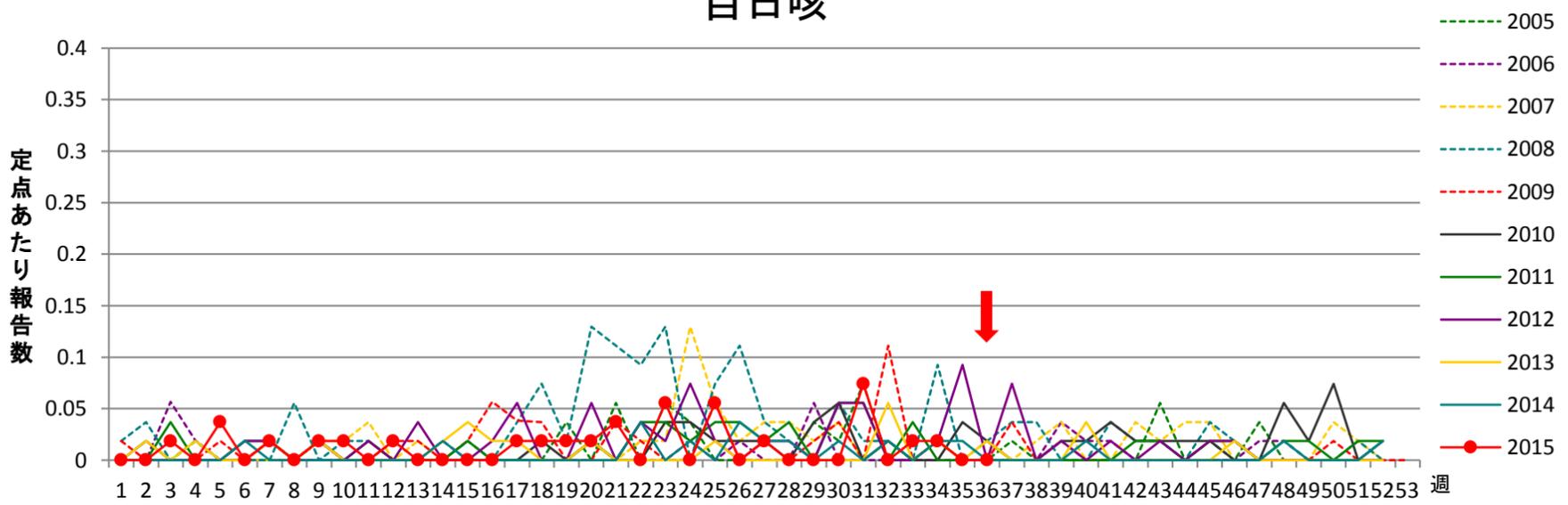
### 伝染性紅斑



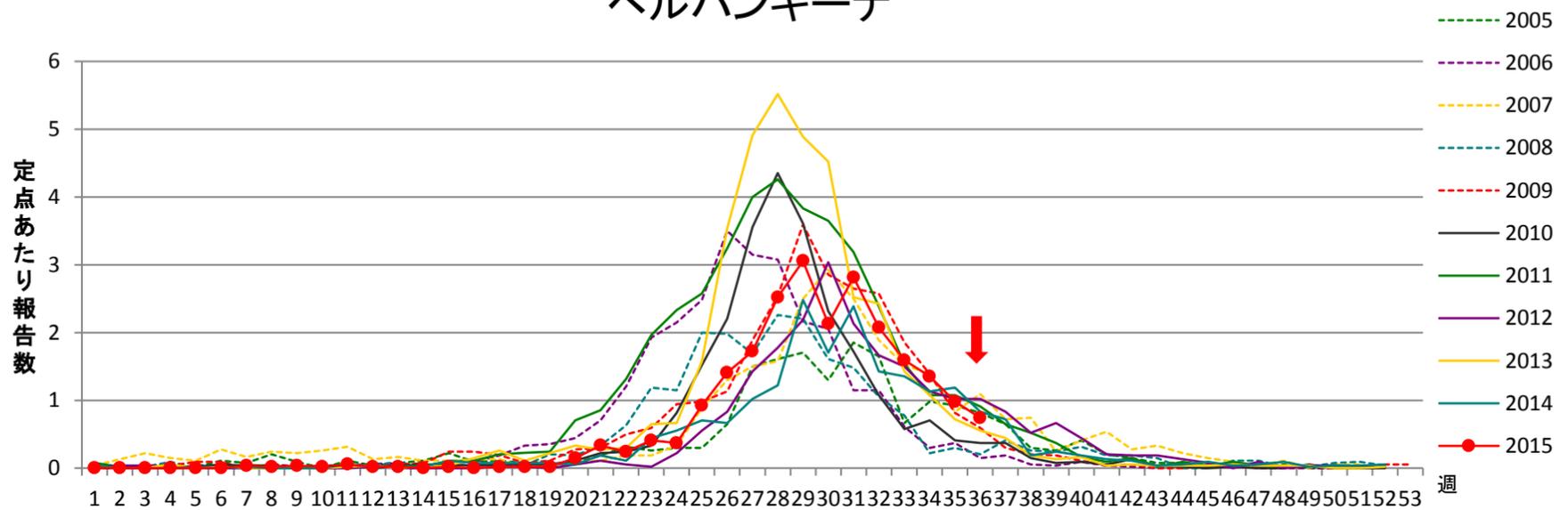
### 突発性発疹



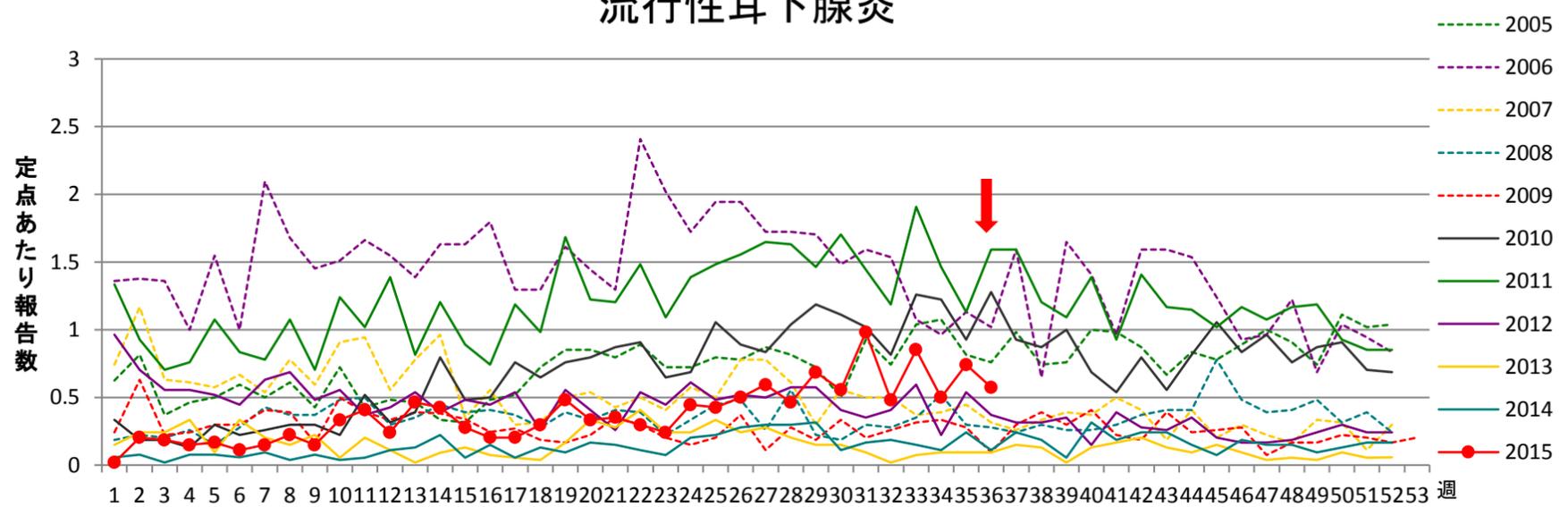
### 百日咳



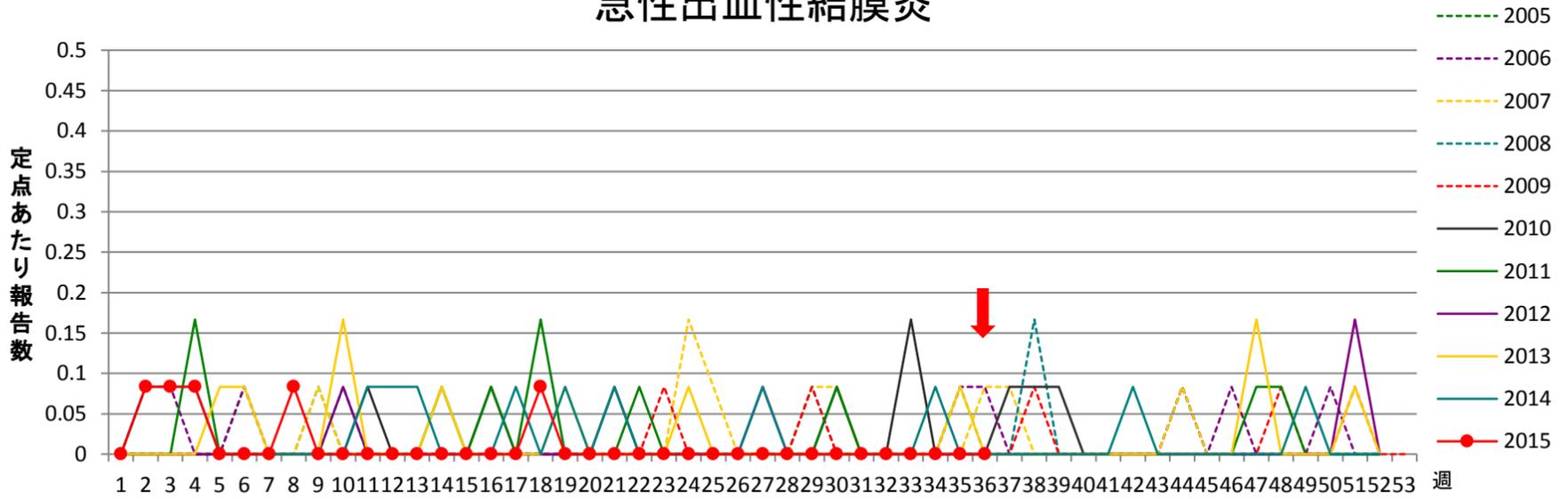
### ヘルパンギーナ



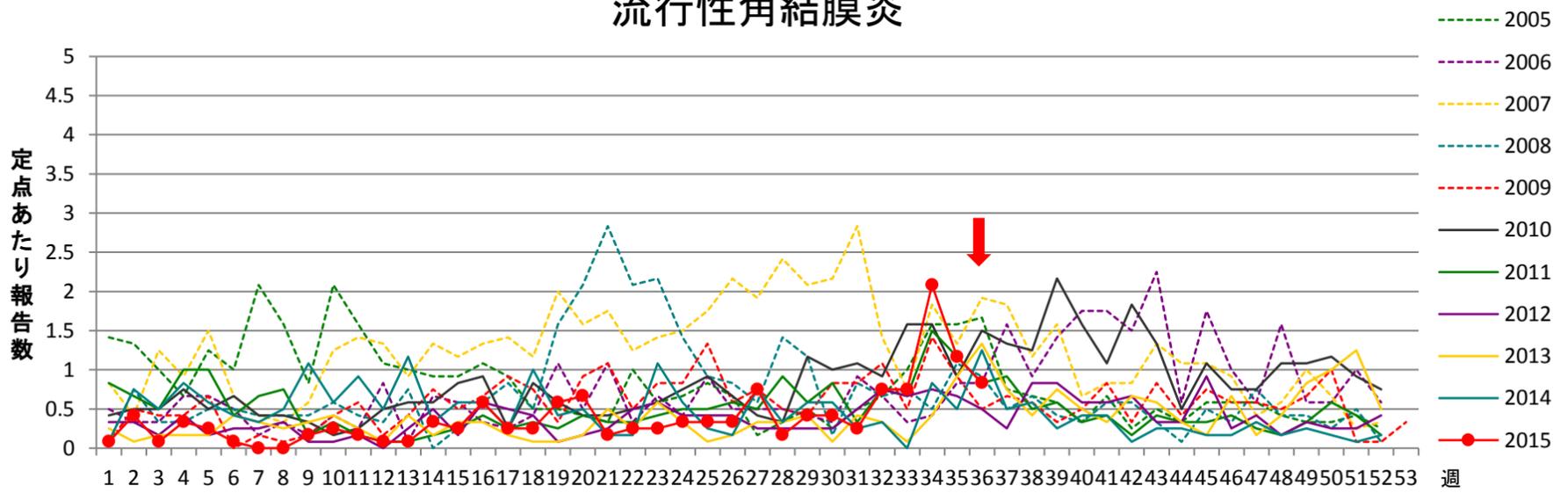
### 流行性耳下腺炎



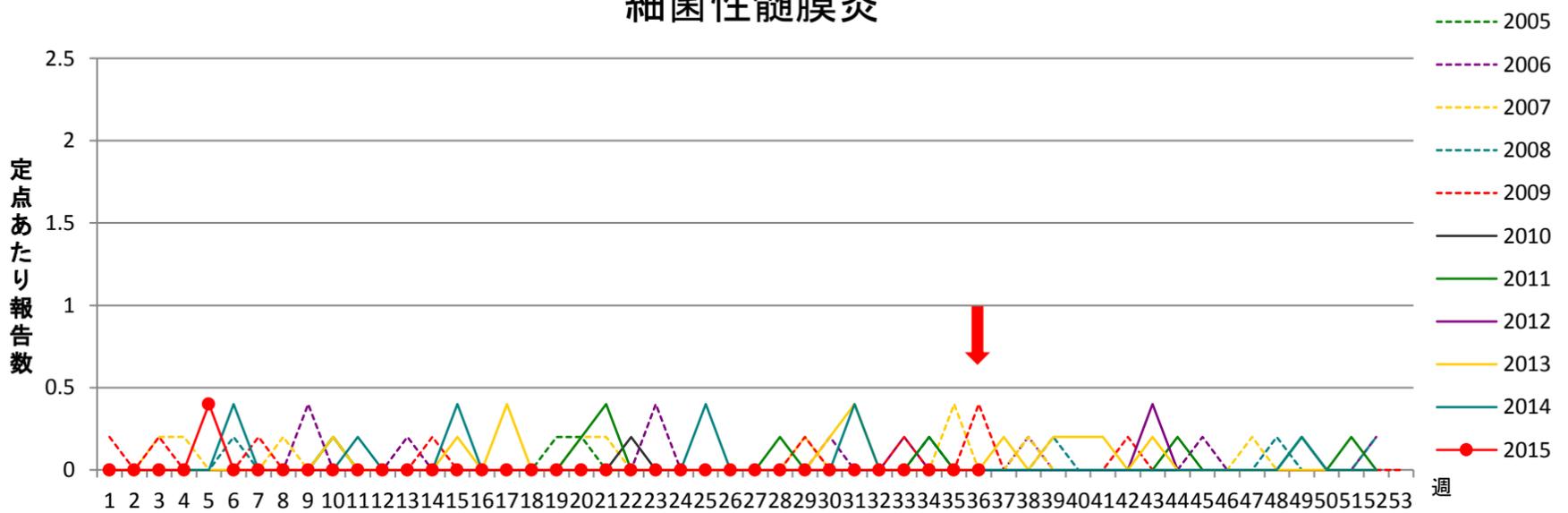
### 急性出血性結膜炎



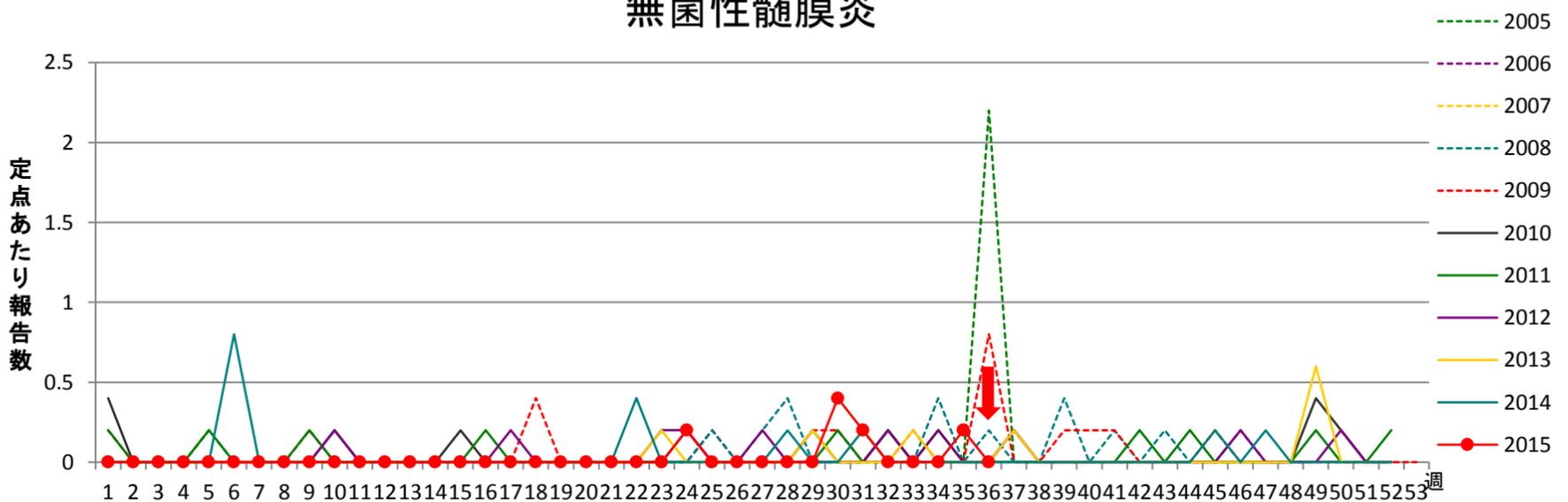
### 流行性角結膜炎



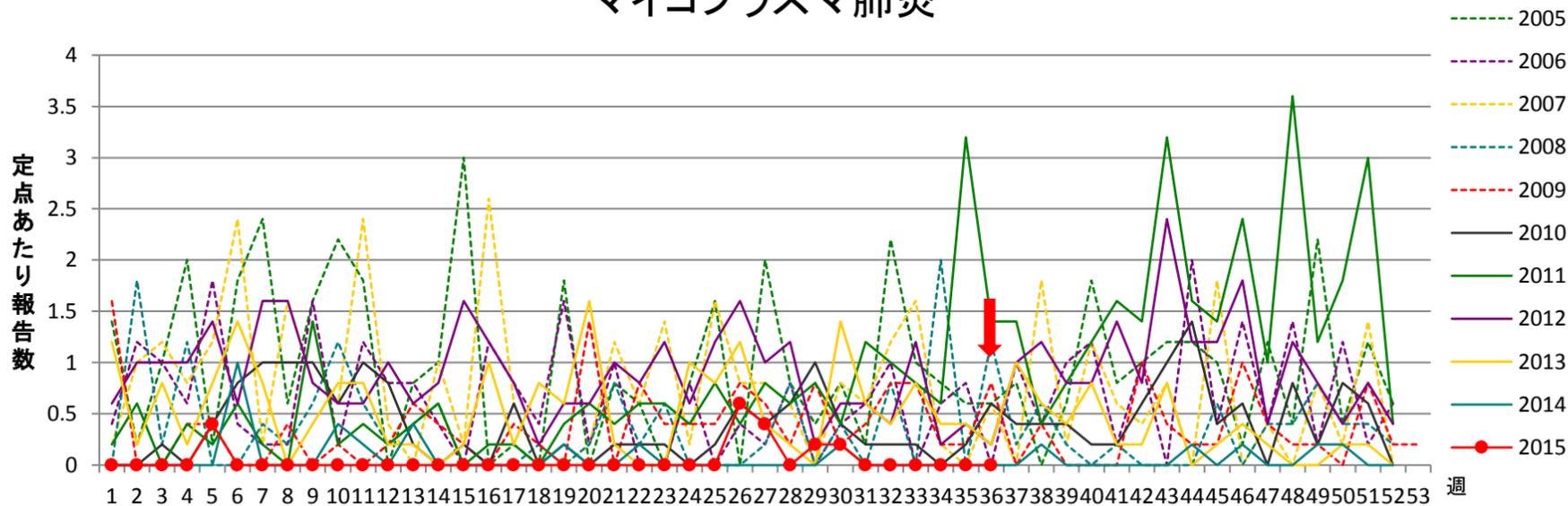
### 細菌性髄膜炎



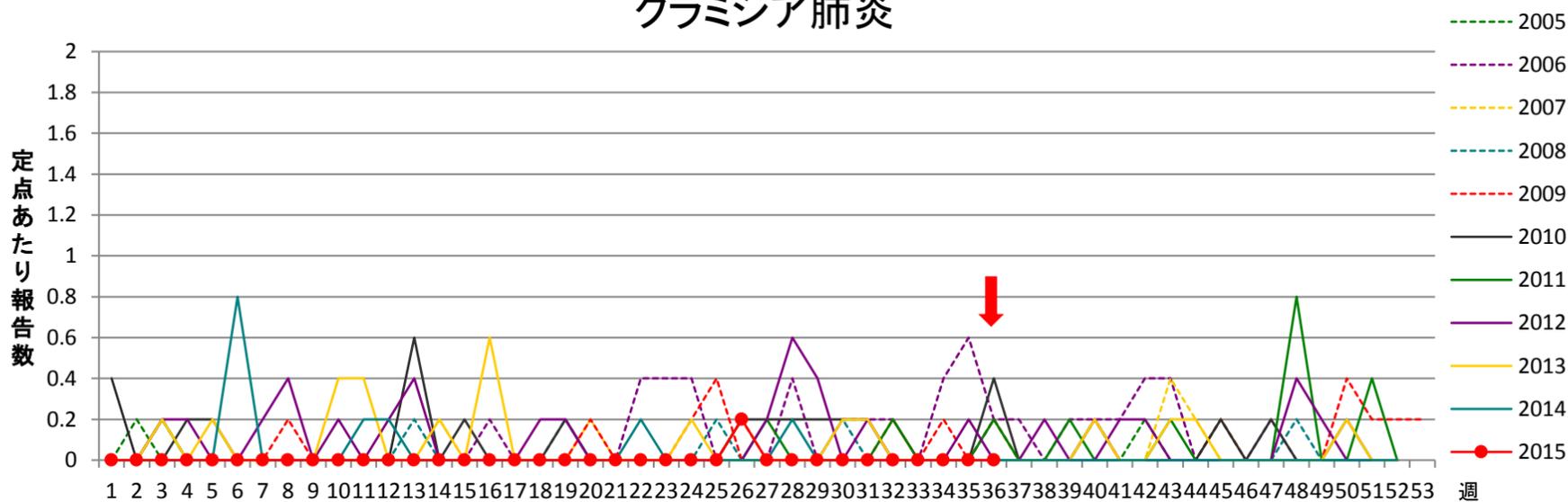
### 無菌性髄膜炎



### マイコプラズマ肺炎



### クラミジア肺炎



### 感染性胃腸炎(ロタウイルス)

